年間授業計画

第四商業高等学校（２学年用）

教科：　国語　　**科目　論理国語**　　単位数：　３　単位

◆対象学年組：第　学年　組～　組

◆使用教科書　（「新編論理国語」（東京書籍））

◆教科　国語　の目標：

【知　識　及　び　技　能】：　生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。

思考力、判断力、表現力等】：　生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

学びに向かう力、人間性等】：　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

◆科目　論理国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 対話についての筆者の考えを捉え，日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。 【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味について理解し，学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ，話し合う。	・指導事項 １「対話」と「おしゃべり」の違いに注意しながら，本文を通読する。 ２本文で使われている接続表現を挙げ，その中から「逆説」「根拠」の接続表現に当たるものを指摘する。（論理の力） ３「対話」と「おしゃべり」の違いを本文の論旨をもとにまとめ，「対話成立のポイント」が何かを理解する。 ４「対話」と「おしゃべり」の違いを理解したうえで，ふだんの生活の中でどんなときに「おしゃべり」をし，どんなときに「対話」をしているかを振り返り，話し合う。（言語活動） ・教材 対話とは何か	【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味について理解し，学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ，話し合おうとしている。	○	○	○	7
	B 学ぶことの意味について，筆者の主張を読み取り，自分に引き寄せて考える。 【知識及び技能】 言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味について理解し，学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ，話し合う。	・指導事項 １四つの意味段落で述べられている筆者の考えを押さえながら，本文を通読する。 ２筆者の考えを理解するうえでよく分からなかった部分について，質問を考えまとめる。 ３「論理的」とはどういうことか，文章の論理的構造を捉えるために必要なことは何かを理解する。 ４比喩表現の意味を理解し，論の起点となる内容を読み取る。 ５筆者の主張する「学ぶことの段階」について，具体的に読み取り，まとめる。 ６学ぶことの第一歩である「好き嫌いの感覚から距離を置くこと」の意味について読み取り，まとめる。 ７「学ぶためのもう一つのポイント」である「思考の基本」について，読み取り，まとめる。 ８自分の中にある，学ぶことに関する「種」について，話し合う。（言語活動） ・教材 世界をつくり替えるために	【知識及び技能】 言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味について理解し，学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ，話し合おうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	C 挙げられている話題を関連づけて読み取り，「ふしぎ」ということについて考えを深める。 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に具体例を通して筆者が述べようとしている考えを読み取り，学習課題に沿って筆者の考える「物語」の捉え方を理解しようとしている。	・指導事項 １本文を通読し，子供の頃「ふしぎ」に思ったことを発表する。 ２具体例を挙げて説明している部分を指摘する。 ３本文の三つの部分で取り上げている事柄や問題についてまとめる。 ４「あたりまえ」と感じていることを「ふしぎ」と受け止めることの意義について理解する。 ５子供の説明が「物語」に直結しているということについて理解する。 ６「自然科学」の方法と「物語」の違いについて理解する。 ７本文の要旨をまとめる。 ８「慣用句の意味」を通読し，慣用句の意味について確認する。 ・教材等 「ふしぎ」ということ	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に具体例を通して筆者が述べようとしている考えを読み取り，学習課題に沿って筆者の考える「物語」の捉え方を理解している。	○	○	○	12
	D 資料を集めてさまざまな観点から整理し，テーマを吟味する。 【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使う。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において，多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にレポートを書くための資料の収集・整理の方法を理解し，学習の見通しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し，適切なテーマを設定しようとしている。	・指導事項 １「課題」中から一つを選び，新聞・テレビのニュースなどから，興味・関心のある社会的な問題を書き出し，仮テーマを決める。 ２仮テーマに沿って，図書館のデータベースやインターネットなどを活用して資料を探す。 ３「情報整理のポイント」の五つの観点に沿って，集めた資料を整理する。「書き手の立場」「内容」「文章の形式等」「発表された時期」「対象とする読者」の項目別に，表にまとめ，各資料の特徴を確認する。資料に偏りや不足がある場合は，随時資料収集の機会を設ける。 ４各資料の論点を比較するポイントを捉え，自分の立場や意見，問題意識の明確化との関連性を理解する。 ５「論点整理表」の四つの観点に沿って，資料を整理する。「背景と意義」「主張と根拠」「他資料との関係」「自身の意見」の項目別に，表にまとめる。 ６論点を整理したことで見えてきた，テーマについての自分の立場や意見，問題意識をまとめる。 ７五つの観点からテーマの検討を行う。各自が書きあげた表をグループ内で確認し合い，互いに疑問点の指摘や助言を行う。その結果からテーマの変更や修正を行って，適切なテーマの設定をする。 ８資料の表作成過程で生じた困難や浮かんだ疑問，気づいたことなどをグループで話し合う。 ・教材 資料を整理し，テーマを吟味しよう	【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において，多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にレポートを書くための資料の収集・整理の方法を理解し，学習の見通しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し，適切なテーマを設定しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
2学期	E 文章の読み比べ方を学び，複数の文章を比較して考えを深める。 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の主張を事実との関係に注意しながら読み取り，今までの学習を生かして人間の思考や脳の働きについて，複数の文章を読み比べながら，考えを深めようとしている。	・指導事項 １タイトルに込められた筆者の思いや，事例と主張に注目しながら，本文を通読する。 ２第一段から，事故の具体例と筆者の主張との関係を整理し，「リスクの認識」について，筆者がどのような考えを述べようとしているかを読み取る。 ３第二段から，「ギャンブラーの誤謬」の例を通して筆者の述べたい内容をつかみ，昔と今日の状況の違いを捉える。 ４「ヒューマンエラー」に対する筆者の考えを読み取る。 ５第三段から，脳の進化と文明の発展についての筆者の考えを読み取り，タイトルの意味を理解する。） ６「私たちは，ラップトップを抱えた『石器人』でもある」といえる根拠を，本文からまとめる。 ７「文章を読み比べるために」を通読し，文章を比較する観点を理解する。（文章を読み比べるために） ８「学ぶことと人間の知恵」（五六）と「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み比べ，「人間の脳の特性」について自分はどのように受け止めるか，自分の知識や体験なども関連づけながら，考えをまとめる。（言語活動） ・教材 「ラップトップ抱えた『石器人』」	【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の主張を事実との関係に注意しながら読み取り，今までの学習を生かして人間の思考や脳の働きについて，複数の文章を読み比べながら，考えを深めようとしている。，話し合おうとしている。	○	○	○	12
	F 比喩表現に注意して内容を読み取り，思考のあるべき姿について理解を深める。 【知識及び技能】 言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く比喩によって表現された筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深める。	・指導事項 １論の展開に注意しながら，本文を通読する。 ２本文の主張について，「例示」の役割を持っている段落がどこか，指摘する。 ３「思考」のために必要な「肺活量」とはどういうものか理解する。 ４第二段における三つの例示について理解する。 ５「思考の原型」について理解する。 ６筆者が述べる，「思考」において「だいじなこと」を理解する。 ・教材 思考の肺活量	【知識及び技能】 言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く比喩によって表現された筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	G 仮説を立てて検証し，検証過程を文章にまとめる。 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において，個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど，文章全体の論理の明晰さを確かめ，自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し，学習の見通しをもって情報を収集・整理し，分析することによって仮説の妥当性を判断し，検証の過程を文章にまとめようとしている。	・指導事項 １「高校生の読書」について仮説を立てて検証し，検証の過程を文章にまとめた例を参考に，学習の進め方を理解する。 ２「課題」の中から一つを選び，問題の前提と，そこにどのような傾向が見られるかについて，インターネットを使うなどして現象を把握する。 ３同じ課題を選んだ人どうしでグループに分かれ，課題の現象に基づく疑問点を出し合い，その原因や結果について仮説を立てる。 ４仮説を検証するための根拠となる情報を，インターネットなどを利用して集める。 ５集めた情報を整理・分析し，立てた仮説の妥当性を検証する。 ６検証の過程を文章にまとめるため，構成を考え，メモを作る。 ７報告文が書けたら読み直し，仮説の検証過程が的確に伝わる文章であるかを確認し，必要があれば推敲する。 ・教材等 仮説を立てて検証しよう	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において，個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど，文章全体の論理の明晰さを確かめ，自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者独自の「視点」を理解し，今までの学習を生かして戦時下の人々の日常と自分との接点について，考えを深めようとしている。	○	○	○	11
	H 文章構成に注意して筆者の考えを理解し，安心というものの本質について考える。 【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使う。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に文章の展開を把握して筆者の考えを読み取り，学習課題に沿って筆者が捉えている「安心」の本質について考えを深め，まとめる。	・指導事項 １各段の話題に注意しながら，本文全体を音読する。 ２第一段の内容を，漫画を参考にしながら読み取る。 ３第二段を音読し，シュルツの半生を箇条書きにまとめる。 ４第一段の漫画の内容とシュルツの半生との関わりを理解する。 ５子供にとっての「安心」とは何かをまとめる。 ６「母の苦しみはだんだんひどくなっていった。かわいそうなお母さん，ボクらは何もしてあげることができない。」には，どのような表現の工夫が見られるか考え，話し合う。（言語活動） ７全体を読み直し，これまでの内容を振り返り，「安心」というものを筆者がどのように捉えているか考える。 ８「言葉にするとき，しないとき」を通読し，言葉の役割とその限界について述べられていることを読み取り，言葉を言葉で定義するにはどのようにすればよいか，考えてまとめる。 ・教材 安心について	【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に文章の展開を把握して筆者の考えを読み取り，学習課題に沿って筆者が捉えている「安心」の本質について考えを深め，まとめようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
3学期	I 楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。 【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使う。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において，多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで「楽しく働くこと」について，それぞれの文章の筆者の立場に基づく考えを，学習課題に沿って理解し，「働くよろこび」について自分の考えをまとめ,話し合おうとする。	・指導事項 １本文に述べられている「楽に働くこと」と「楽しく働くこと」の違いに注目しながら，本文を通読する。 ２「工場のものづくり」がどのようなものかを理解し，近代工場での労働の「楽さ」と「楽しさ」についてまとめる。 ３内山節と白鷹幸伯の著作について書かれた内容を整理し，著者がこの二冊を薦める理由を理解する。 ４対比的に用いられている「働く」と「稼ぐ」という言葉の意味を押さえながら，本文を通読する。 ５筆者の言う鍛冶屋の楽しみを理解し，和釘づくりが「歴史への参加」という考え方を理解する。 ６働くことのよろこびや「楽しく働く」とはどのようなことかについて，「楽に働くこと，楽しく働くこと」「情景の中の労働」の内容も踏まえて考えたことを話し合う。 ７「知っておきたいカタカナ語」を通読し，よく耳にするカタカナ語の意味を，その言葉が使われるようになった背景とともに理解する。 ・教材 楽に働くこと，楽しく働くこと 情景のなかの労働 鉄，千年のいのち 知っておきたいカタカナ語	【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において，多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にレポートを書くための資料の収集・整理の方法を理解し，学習の見通しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し，適切なテーマを設定しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
						合計	105